

衝撃吸収機構付きインターミディエイトシャフト

Intermediate Shaft Series



ステアリングシステムとコラム(ハンドル)とをフレキシブルに効率よく多様な顧客ニーズに対応して連結するもので、二段衝撃吸収機構(コルゲートチューブとコラプス機構)を備え、ハンドル側にラバーカップリングの振動吸収機構を取り入れた、人にやさしい最適製品を紹介する。

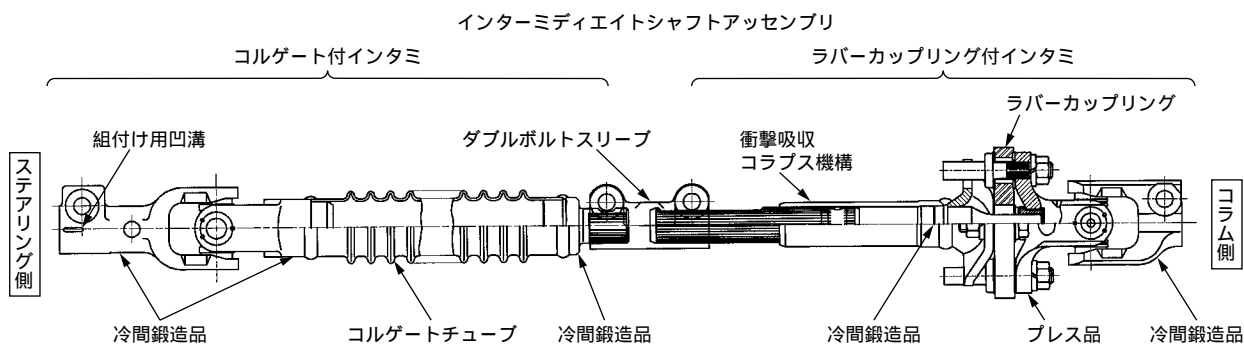
特長

- ・ フランジヨークにプレス加工品を新しく開発し、原価低減に貢献
- ・ コルゲートチューブとコラプス機構
- ・ ボルトヨーク2点，ウエルドヨーク1点，シャフト2点の冷間鍛造化による環境対応商品を提供

性能

項目	試験条件	評価基準
静的ねじり強度	負荷トルク：破壊まで	破壊トルク 157 J 以上
ねじり疲労強度 1 (正弦波)	負荷トルク：± 68N・m 繰返し速度：3 Hz	繰返し数 12万回にて き裂無きこと
ねじり疲労強度 2 (正弦波)	負荷トルク：± 29.4N・m 繰返し速度：3 Hz	繰返し数 100万回にて き裂無きこと
ねじり疲労強度 3 (矩形波)	負荷トルク：± 29.4N・m 回転角度：± 180°	繰返し数 100万回にて き裂無きこと

構造



光洋機械工業株式会社